



まだまだ寒い2月に入りました。今このたよりを書いているのは1月下旬なのですが、大寒を過ぎたからか少し寒さが和らいでいるように思います。全面結氷し、御神渡りの期待が高まっていた諏訪湖も可能性が低くなってしまいました。年々温暖化で莫大にならているので、御神渡りした4年前に見に行けばよかったですと後悔しています。今年は何年にも比ぶ寒いので、朝日村の天然スウェートリンク場もしっかりと凍っていて子供達でにぎやかにたりそうだなと思っていたら、オミクロン株の広がりですべてスウェートリンク場も閉場になってしまいました。子供達の冬の遊び場が減ってしまうのは悲しいですね。新型コロナウイルスも日々感染者が増え続け、まだゼロが見えない状況です。先日出かけの際、マスクをする事もあまり嫌がらなくなってきた娘(もうすぐ3歳)に、「オミクロンはいつなくなるの?」と聞かれました。母も知りたい…。暖かい春に向かうにつれコロナウイルスが早く収まり、卒業式や入学式などの行事ができるようになる事を願います。皆様暖かくして寒い冬をお過ごし下さい。

## ★ 馬也走よしひら 営業時間等変更のお知らせ ★

県からの営業時間短縮等の要請を受けまして、1月27日～2月20日まで「昼営業のみ」「酒類の提供なし」で営業させていただきます。よろしくお願い致します。

なお、吉平酒店は10:00～19:00の不定休で営業しておりますのでぜひご利用下さい。

## 馬也走よしひら お弁当・オードブルのご案内

★ お弁当 ごはんあり 税込 ¥1,000(小), ¥1,500(中), ¥2,000(大)

★ オードブル ごはんなし 1人前 税込 ¥1,500～ (2人前からお受けしております)

前回の紹介の時に分かりづらかったので改めて写真付きでご案内させていただきます。旬の食材をきちんと詰め込み、丁寧に手作りしたお弁当とオードブルです。ぜひご利用下さいませ。(ご注文は3日前までお願い致します)



お弁当(小) 税込 ¥1,000



お弁当(大) 税込 ¥2,000



オードブル2人前 税込 ¥3,000

(写真はイメージです。季節によって内容は異なります)

今月のおすすめワインは裏面です ➡

## 吉平酒店よもやま話

今月は新しいインポーターから入荷したワインについての御案内です。吉平酒店＝フランスワインというイメージも根強くありますし実際そうなので事実なのですが、最近は他の国のワインも色々と扱い始めていますので、まずは近々に新入荷したアメリカ・ソノマのワインについて御紹介したいと思います。

### ・アメリカの有名産地「ソノマ カウンティ」

アメリカのワインは細分化が進んでおり、今回だけではご紹介しきれないのでザックリと御案内したいと思います。アメリカのワインと言えば「カリフォルニア州」や「ナパ ヴァレー」が聞き覚えのあるところですが、今回のソノマ カウンティも同じカリフォルニア州ノースコーストの中にありワイン産地としても有名な場所です。ナパヴァレーとの違いとしては、太平洋に面している地域と内陸にある地域、ソノマ湖やロシアン川やサン＝パブロ湾など様々な気象条件の違いにより多様性のあるワインが生産されます。ただ、世間認知としてはシャルドネやピノノワールが有名です。

### ・今回のワインのご紹介です。

#### ・ Pinot Noir Campbell Ranch Vineyard 2019 (税込 6,300 円)

まずは A.V.A. Sonoma Coast(ソノマコースト)の中でも北端に位置する Campbell Ranch Vineyard (キャンベルランチヴィンヤード)のピノノワールからです。太平洋の寒流からの影響を受けるソノマカウンティの中でも冷涼な地域であり、粘土と砂の混じるゴールドリッジという独特な土壌と合わさって、軽やかさや滑らかさのある果実味と複雑味のある味わいが長い余韻へと続いていきます。いわゆるカリピノなのですが、フルーツ主体だけでなく様々なニュアンスをじっくりと楽しめるワインに仕上がっています。



#### ・ Syrah Peters Vineyard 2019 (税込 4,380 円)

続いては A.V.A. Petaluma Gap(ペタルマギャップ)の北の端から続く Peters Vineyard(ピータースヴィンヤード)のシラーです。Petaluma Gap(ペタルマギャップ)は2017年12月に新設された A.V.A. で、サンパブロ湾などの内湾の影響で海からの冷たい風と霧が低地に沿って入り込み易い非常に冷涼な産地です。フランス・コートロティスタイルというシラーに数パーセントのヴィオニエを混植・混醸する造り方をしており、外交的なリッチさとしっとりとした味わいが魅力的な華やかなワインに仕上がっています。



### ・ Anthill Farms(アントヒル ファーム)について

「アリの丘」という意味のワイナリーで、このワイナリーを立ち上げた3人の醸造家のタンクに集まる様子が、ブドウに群がるアリに形容されワイナリー名とエチケットのシンボルにしたそうです。2004年が初ヴィンテージながら2011年から世界トップ100ワイナリーにも選出(2011、2015、2018)されており、元々ピノ好きの3人が集まっていることもあって、ピノノワールのヴァリエーションが豊富で評価も高い銘柄です。今回はシラーも入荷しており、ピノノワールの陰に隠れがちですがヴィノスにて『彼らのシラーは今日カリフォルニアで造られる最も特別なワインのひとつ』と称賛されています。

### ・その他の銘柄について

今回はソノマ カウンティにワイナリーがありますのでこの地域の銘柄をご紹介しましたが、ソノマ カウンティの北にある Mendocino County(メンドシーノカウンティ)の A.V.A. AndersonValley(アンダーソンヴァレー)でも素晴らしいワインを造っています。数量が少ないですので是非1度お試しくださいませ。

